



4年 伊橋 優実さん

※「平和」は、中心に氣をつけて、「和」は、へんとつくり注意識して書きま

伊橋優実

# 平和



1年 石橋 拓巳くん

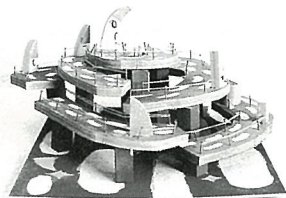
※ゆめほくじょうで、うしをみました。うれしそうなおがよくできました。



『うしをみたよ』



## あつまれみんなの力作



『月の谷』  
(だんだんコリント)



5年 竹下未希子さん

※月の形を糸のこで切るのがたいへんでした。色ぬりや釘打ちが楽しかったです。



2年 群蒜 和昌くん

※版を作ったり、つつしたりするのほむすかしかつたけれど、きれいにできましたよ。



『かぶと虫がいた』



6年 仲村瑛莉加さん

※はらいやはねをかすれないように書くのがとてもむずかしかったです。

# 文化を伝える

仲村瑛莉加



3年 伊藤 雄大くん

※数字の世界であそんでいる様子をかきました。



『ゆめのけしき』

## ひかり歌壇



藤代 敏子(宮内)

生きて在る報せを兼ねる初葉書減る枚数を娘に買わせたり

賀状は生存の証であるから他界者を除いて準備して貰った

伊藤 定男(尾垂)

天恵を享けし生命を大切に氣力を絞らぬ生きたし

天地の恵みをうけた生命大切に生きて行きたい

越川 福子(宮内)

うっすらと霜おく朝に石露のすつくと立ちて鮮やかに咲く

うっすら霜の降りた庭に咲く石露の花が鮮やかである

鈴木 益郎(原方)

敵艦へめがけ突っこむ友悲し写真見つめて面影偲ぶ

航空兵であった作者は、今だに体当りした戦友の面影を偲ぶ

評者詠

鈴木甲子幸

黄に熟れし柚子の実数多成り下り刺をかくして庭に輝く